

## 福島第一原子力発電所 各タンクエリア堰内溜まり水の状況

エリア名	9月15日採取 (単位：Bq/L)	対応	対応時間（9月16日）	排水量 ・ くみ上げ量	堰内の水位変動* (9月16日午前10時→対応後)
H1	200	くみ上げ	7:25~20:42	-	約13cm→約2cm
H2（北）	140	くみ上げ	2:17~20:48	-	約5cm→約3cm
H2（南）	3,700	くみ上げ	2:11~20:51	-	約5cm→約4cm
H3	4,600	くみ上げ	9:30~20:45	-	約16cm→約4cm
H4（北）	170,000	くみ上げ	3:04~20:57	-	約11cm→約3cm
H4（東）	2,400	くみ上げ	3:04~21:02	-	約6cm→約4cm
H4	110	くみ上げ	3:04~20:54	-	約6cm→約4cm
H5	430	くみ上げ	7:34~16:13	-	約15cm→約14cm
H6	160	くみ上げ	7:46~20:36	-	約15cm→約5cm
H9	9	排水	13:50~15:38	約60 t	約16cm→約4cm
H9（西）	8	排水	13:50~15:38	約80 t	約16cm→約3cm
B（北）	23	くみ上げ	14:20~20:31	-	約20cm→約5cm
B（南）	37	くみ上げ	12:07~20:28	-	約25cm→約6cm
C（東）	24	排水	13:50~15:26*	約70 t	約25cm→約9cm
C（西）	8	排水	12:42~15:51*	約160 t	約25cm→約2cm
E	6	排水	13:30~16:14	約460 t	約16cm→約6cm
G4（南）	3	排水	14:20~16:33	約90 t*	約20cm→約14cm
G6（北）	8	排水	13:20~16:26	約210 t*	約20cm→約3cm
G6（南）	34	くみ上げ	12:18~20:24	-	約20cm→約5cm

※9月15日より降雨が継続していること、水のくみ上げ・排水開始のタイミングにエリアごとの差があることから、水位の変動幅にも差が出る。

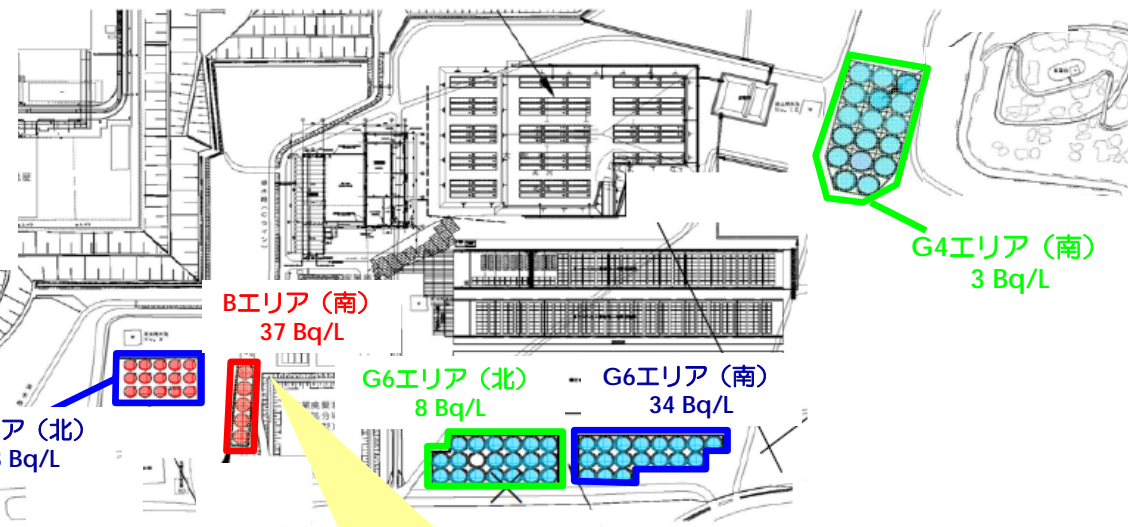
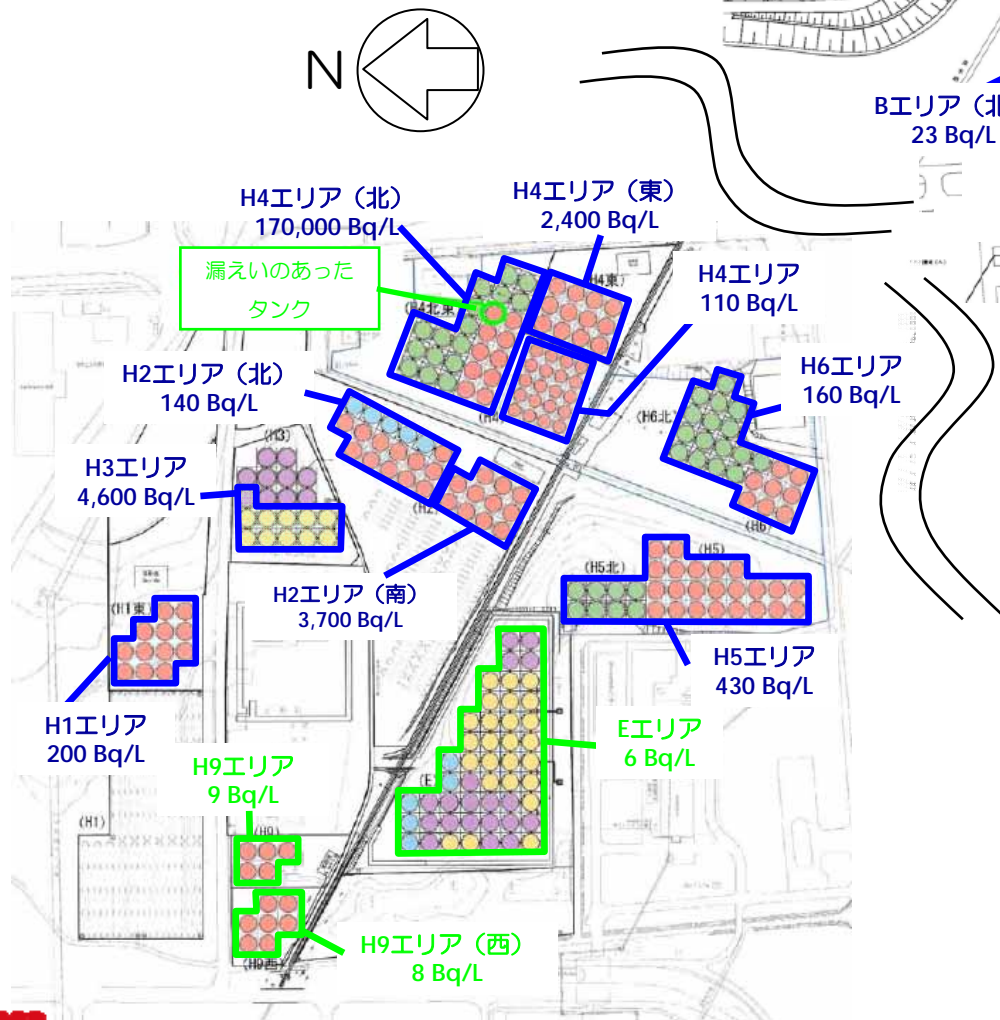
\*C（東）とC（西）における対応時間、G4（南）とG6（北）の排水量に誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。（訂正日：9月17日）

<対応時間> C（東）：誤）12:42~15:51 正）13:50~15:26、C（西）：誤）13:50~15:26 正）12:42~15:51

<排水量> G4（南）：誤）約100 t 正）約90 t、G6（北）：誤）約300 t 正）約210 t

# <参考>構内タンクエリア図

- : 堰内の水のくみ上げを行ったエリア
- : ドレン弁の開操作を行ったエリア
- : 溢水のあったBエリア (南)



<Bエリア (南) の様子>



(提供: 東京電力株式会社 撮影日: 平成25年9月15日)

# <参考>タンク堰内の汚染有無確認にかかる簡易測定法(1/2)

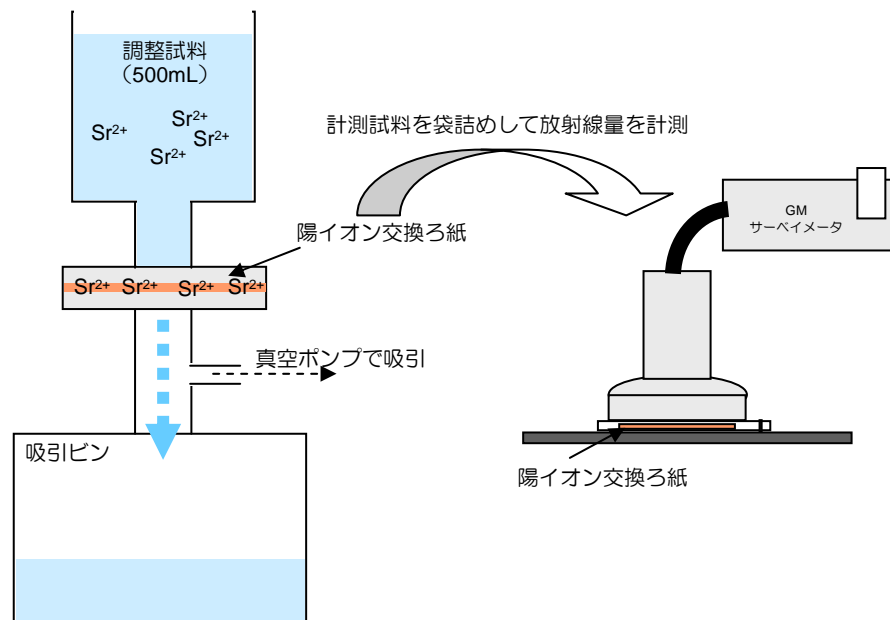
(第5回汚染水対策検討ワーキンググループ〔8月30日開催〕資料2より抜粋)

## ラボ試験結果

### <ラボ試験条件>

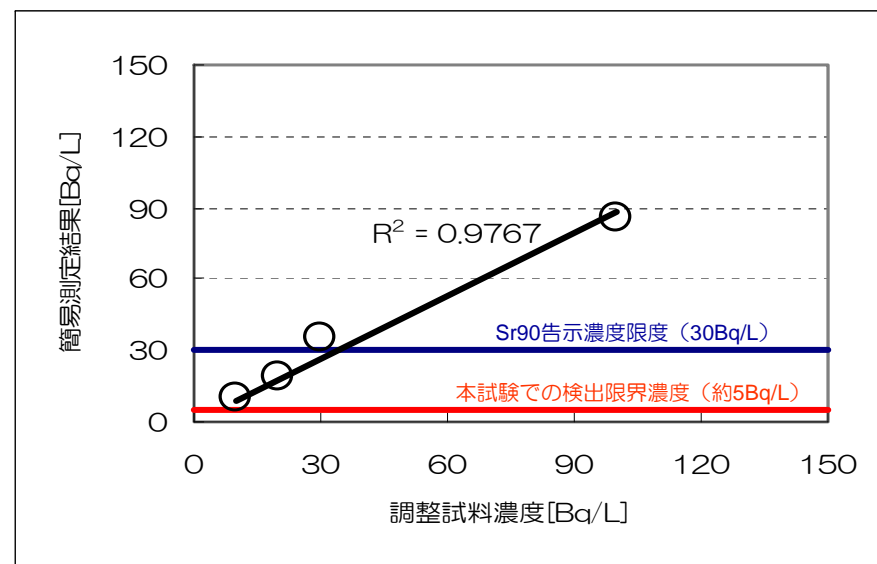
- 供試料体：H4タンクエリアNo.5タンク水※を精製水によって放射能濃度を希釈調整した試料  
※ H25.6.23採取，全ベータ放射能：約 $2E+5$ Bq/mL
- 前処理方法：陽イオン交換ろ紙※に500mLを吸引ビンにて吸引ろ過して通水  
※ 供試料体に含まれる放射能は，陽イオン( $Sr^{2+}$ )として溶解しており，他の妨害イオンがないと仮定
- 計測方法：吸引ろ過後の陽イオン交換ろ紙をGMサーベイメータにて直接計測
- 計測場所：福島第一原子力発電所 5,6号機放射線計測室

### <吸引ろ過イメージ>



### <ラボ試験結果>

ラボ試験においては，**Sr90告示濃度超過の有無を判断できる**ことを確認



## <参考>タンク堰内の汚染有無確認にかかる簡易測定法(2/2)

(第5回汚染水対策検討ワーキンググループ〔8月30日開催〕資料2より抜粋)

### 運用概略

- 降水量、堰内の状況に応じて化学分析室か現場での計測方法を選択（吸引量=500mL）  
《堰から溢水のおそれがある場合》
  - 雨水等の採取および前処理：左下図参照
    - ・ シリンジに陽イオン交換ろ紙をセットのうえ、各堰で雨水等を直接吸引し計測試料を作成
    - ・ コンタミ防止のため、原則としてフィルタホルダは使い捨て、シリンジは再利用
    - ・ 通水後の陽イオン交換ろ紙（計測試料）は、試料情報を記載した袋に収納
- 《堰から溢水のおそれがない場合》
  - ポリ瓶等で雨水等を採取し、化学分析室にて吸引ろ過（前頁参照）のうえ計測試料を作成
- バックグラウンド計測値が低い環境下（100cpm程度を目標）で、GMサーベイメータにより試料を直接計測
- 堰開放の判断目安（Sr90の告示濃度限度30Bq/L以下の放射能濃度に相当するGM計測値）とGMサーベイメータ計測値を比較

